

公益財団法人 核物質管理センター  
第 3 5 回 理 事 会 議 事 錄

1. 開催日時 令和5年2月27日(月)  
10時30分~13時00分
2. 開催場所 東京都港区新橋1丁目2番6号  
第一ホテル東京 4階 「フローラ」
3. 出席者(順不同)  

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 理事   | 代表理事   | 理事長: 下村和生                              |
|      | 業務執行理事 | 久野祐輔<br>(業務執行理事の小林功は欠席)                |
| 外部理事 |        | 牛田克己、内山洋司、海老原充、木下雅仁<br>(非常勤理事の秋山信将は欠席) |
|      |        | 【理事現在数8名、出席理事6名】                       |

  

|    |      |                  |
|----|------|------------------|
| 監事 | 外部監事 | 高本学              |
|    |      | 【監事現在数1名、出席監事1名】 |

  

|     |            |
|-----|------------|
| 事務局 | 総務次長: 猪狩和他 |
|-----|------------|
4. 議長 理事長: 下村和生
5. 議題  
議案  
第1号議案: 令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認  
第2号議案: 常勤理事の業務分担に関する規程の改定の決議  
第3号議案: 令和5年度役員報酬等の決定の決議
- 報告事項  
1: 理事の職務執行状況の報告
6. 議事の経過及び結果  
審議に先立ち、事務局から、理事現在数8名に対し本理事会は6名の出席があり、定款第36条に規定する決議に必要な理事の出席要件を満

たすことについて報告し、併せて監事の出席について報告した。

次に、定款第35条の規定に基づき、下村理事長が議長となり本理事会が進行された。

また、定款第38条第2項の規定に基づき、出席した理事長及び監事が本日の議事録署名人となることを確認し議案の審議に入った。

審議経過は以下のとおり。

#### 6.1 議 案

##### 第1号議案 令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認

下村理事長及び事務局から資料1に基づき、令和5年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み(案)について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認された。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・事業運営の合理化、効率化について質問があり、DX化をまずはバックオフィスの総務・労務・経理・契約の業務を対象とし、情報の電子化、属人化解消、業務の透明化・合理化を行っていき、メインの保障措置業務についても規制庁とIAEAの動きを踏まえて、調整しながらこれから課題になる旨、説明があった。
- ・核物質防護及び核セキュリティに関するセミナーの開催について質問があり、今年度は新型コロナの影響でセミナーが実施出来ていないこと、今後のセミナーのあり方について検討していく旨、説明があった。
- ・六ヶ所再処理工場の保障措置対象設備（使用済み燃料せん断セル）の照明が全停したことについて質問があり、過去の経緯、今回の事象について説明があった。
- ・IAEAへ送付する報告書のデータの不備について質問があり、今回の不備について説明があった。
- ・開発試験棟で火災があったことについて質問があり、火災の概要及び原因について説明があった。

##### 第2号議案 常勤理事の業務分担に関する規程の改定の決議

事務局から資料2に基づき、常勤理事の業務分担に関する規程の改定について説明し、審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり決議された。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・規程の改定について質問があり、危機管理上の問題によりあらかじめ第1順位、第2順位を決めて理事長業務を行うこと、逆に理事が欠けた場合は理事長が行うことの説明があった。

#### 第3号議案 令和5年度役員報酬等の決定の決議

事務局から資料3に基づき、令和5年度の役員報酬について説明し、審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり決議された。

#### 6.2 報告事項

##### (1) 理事の職務執行状況の報告

理事長及び久野理事から資料4に基づき、定款第25条第6項に定める「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告」である令和4年6月から令和5年1月までの業務執行状況について理事長及び久野理事から説明があった。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・人材育成について質問があり、管理職研修、中堅社員研修、検査・分析・安全管理技術の資格取得を充実し、人材育成に取り組んでいく旨の説明があった。
- ・国際協力の推進等に記載があるKINACの技術力や他機関との情報交換や交流について質問があり、KINACは国の組織になったことで技術を有する規模の大きな組織となっており、情報交換を継続すべき機関であること、他の組織との情報交換を行っていく旨の説明があった。

#### 7. 配付資料

- 資料1 令和5年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み（案）
- 資料2 常勤理事の業務分担に関する規程の改定について（案）
- 資料3 令和5年度役員報酬等について（案）
- 資料4 業務報告

以上、理事会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、出席した理事長及び監事が次のとおり記名押印する。

令和5年2月27日

理 事 長 下 村 和 生

監 事 高 本 學

(議事録作成者：公益財団法人 核物質管理センター  
総務部総務課長 遠藤 雅伸)